

# 水戸市消費者物価の概況 (昭和42年2月)

—総合指数で0.7%の上昇—

2月の水戸市消費者物価指数(昭和40年=100)は、総合指数で107.2となり、前月に比べて0.7%の上昇を示した。今月の上昇は、果物、野菜などの食料が上昇したためである。このほか、住居、光熱なども微騰したが、雑費は安値となつた。反面、被服は冬物衣料の値下がりで下落した。

季節商品(生鮮魚介、野菜、果物)を除く総合指数は、106.0となり、前月に比べて0.1%の微騰となつた。

○今月上がった主な項目……果物(15.2%)、野菜(10.7%)、外食(2.4%)、乳卵(2.0%)

○今月下がった主な項目……生鮮魚介(-3.1%)、衣料(-1.2%)、保健医療(-0.8%)

水戸市の消費者物価指数 (40年=100)

	総 合	食 料	住 居	光 熱	被 服	雑 費
昭和41年2月	104.1	106.2	103.1	97.5	102.0	103.6
昭和42年1月	106.5	105.5	106.9	97.4	106.3	109.2
昭和42年2月	107.2	107.5	107.0	97.5	105.4	109.2
対前月比(%)	0.7	1.9	0.1	0.1	-0.8	0
対前年同月比(%)	3.0	1.2	3.8	0	3.3	5.4

○費目別の動きをみると……

**食料指数**は前月に比べ1.9%の上昇を示した。これは果物(みかん、りんご(国産)など)、野菜(キャベツ、れん草、白菜、ねぎ、レタス、かんしょ、玉ねぎ、れんこん、きゅうり、トマトなど)、外食(親子どんぶり、乳卵(鶏卵)などが値上がりしたためである。一方、生鮮魚介(あじ、さけ、さば、たら、いか、かきなど)、(干のり)などは値下がりした。

**住居指数**は前月に比べて0.1%の微騰となつたが、これは角材、ベニヤ板などの設備修繕料が値上がりしたためである。

**光熱指数**はまき、炭などが前月につづいて値上がりしたため、8.1%微騰した。

**被服指数**は背広(冬)男子オーバー、替ズボン(冬)、男子シャツ(合)、ペンベルグ、オーバー地などの冬物衣料が値下がりしたため、-0.8%と下落した。

**雑費指数**は医薬品などが一部地域で値下がりしたため低落したが、雑誌の一部、映画観覧料、宿泊料などが値上りしたので、保合となつた。

消費者物価指数(大分類別) (40年=100)

年 月	総 合	食 料	住 居	光 熱	被 服	雑 費
昭和38年平均	88.7	85.4	92.9	99.3	88.3	90.7
〃 39 〃	91.5	89.2	93.4	99.3	91.1	92.8
〃 40 〃	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
〃 41 〃	104.4	103.2	105.3	97.2	103.8	107.1
昭和41年2月	104.1	106.2	103.1	97.5	102.0	103.6
〃 3月	104.8	106.7	103.2	97.5	102.7	105.1
〃 4月	105.1	105.7	104.4	97.5	102.5	107.0
〃 5月	103.5	100.8	104.6	97.5	103.3	107.9
〃 6月	104.0	101.7	105.8	97.5	103.3	108.0
〃 7月	104.9	103.8	106.0	96.8	103.1	108.2
〃 8月	103.2	99.8	106.3	96.8	102.3	108.0
〃 9月	104.0	100.9	106.5	96.8	104.2	108.4
〃 10月	105.7	104.2	106.6	96.8	106.7	108.4
〃 11月	104.3	100.8	106.8	97.1	106.4	108.4
〃 12月	105.7	103.7	106.9	97.3	106.7	108.9
昭和42年1月	106.5	105.5	106.9	97.4	106.3	109.2
〃 2月	107.2	107.5	107.0	97.5	105.4	109.2